

まちづくり人材育成講座

昨年度に引き続き、学生・主婦・建築士・市職員など19名のメンバーでまちづくり人材育成講座を毎月1回開催しています。今年度は 観光まちづくり地域コミュニティ 団地再生術 中心市街地活性化 起業と企業文化によるまちづくりの5つのグループに別れ、グループ別自主研究を取り入れています。また、まちづくりを実践している市民をお呼びして全体講座の講師、グループ研究のアドバイザーとしてお話をうかがっています。



5月22日「互助活動によるコミュニティづくり」脊古光子さん（ねっとわくアミダス）



6月19日「青少年の健全育成と地域コミュニティ」小笹貴道さん（浜松オープンスクール）



7月24日「みなとまるごと博物館SHIMIZUの会の活動」木村精治さん（都市環境デザイン研究所）



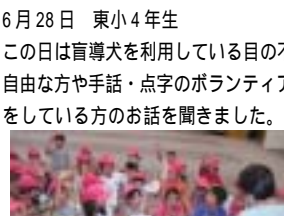
7月24日「商店街が地域コミュニティ拠点となるケルとしてのICR」野口直秀さん（清水駅前銀座商店街振興組合）

学校教育の総合学習と連携しています

学校教育の総合学習で取り上げられるまちづくり教育やユニバーサルデザイン学習などについて、多くの子どもたちがセンターを訪れ、施設の見学や体験学習、意見交換などをして学んでいます。



6月11日 東小4年生
車イスと白杖を使って、トイレ、階段、エレベーターなど利用するUD体験学習をしました。



6月28日 東小4年生
この日は盲導犬を利用している目の不自由な方や手話・点字のボランティアをしている方のお話を聞きました。



8月14日 東小4年生
夏休み中のグループ研究で、障害の有無に関わらず楽しめるスポーツ、ポッチャを見学・体験しました。



6月10日 東小6年生
一昨年、昨年の6年生が考えた新野公園の設計や設備計画の提案経緯を学びました。今年の6年生はどんな提案をしてくれるのでしょうか？

センターからのイベント案内

夜楽塾

19:00 ~
まちづくり
センターにて

第25回 9月23日(木) 「青空偏光と偏光虹の研究」

達人...中桶悟光さん まちの空気のきれいさもわかる「偏光」「偏光虹」について研究し発見したことを紹介します。

第26回 10月21日(木) 「三鷹市の市民参加のまちづくりの歴史」

達人...古谷伸子さん、三鷹市行政マンさん 昭和40年代から三鷹市のまちづくりの実践活動をしてきた市民と行政マンが語ります。

第27回 11月18日(木) 「浜松における8020運動」

達人...岩田さち子さん みんなが一生自分の歯で楽しい食生活を送り、健康で快適なまちづくりを進める運動について紹介します。

センターが後援・協力しているイベントやまちづくり関係団体のイベントをご案内します

お月見コンサート

月の癒しと音楽の調べ 安らぎのひとときを月の光とともに・・・

第一部 篠笛：小池裕二郎
第二部 ヴァイオリン：小澤諒子
ピアノ：寺田雅子

日時：9月25日(土) 18:30 ~ 20:00
場所：フルーツパーク野外劇場 入場料：500円
主催：都田・鷲沢・滝沢ふるさと夢Mi隊、フルーツパーク

TEL 053-428-2694 (野末)

世界遺産からのメッセージ

・絵画コンクール「大好き熊野古道」作品展と「世界遺産」パネル展

10月1日(金) ~ 10月11日(火)

・講演会 10月2日(土) 14:00 ~ 16:30

「世界遺産条約とユネスコの役割」

岩本由美子さん(日本ユネスコ協会連盟)

「熊野古道」世界遺産の最前線 小野田真弓さん
(熊野古道を世界遺産に登録するプロジェクト準備会)

主催：世界遺産の会(会場：まちづくりセンター)

災害時にうごけるボランティア講座

減災の要は地域連携

~地域防災「官から市民へ」~

災害はいつか必ず起こります。“減災”のために、地域が、市民が何をすべきか考えましょう。

日時：12月11日(土) 13:30 ~ 15:30

場所：可美公園総合センター

講師：福和伸夫さん(名古屋学院大学)

主催：はままつ災害まちづくりパートナー会議

姫まつフォーラム

・姫街道の松並木についてみんなで考えましょう！看板のデザインの人気投票もします。

・「姫街道の松並木」の歴史

・郷土史研究家 渥美登良男さん

・「姫街道の松並木」の健康診断

・樹木医 正木伸之さん

日時：9月26日(日) 13:00 ~ 15:00

場所：葵西会館(葵西2-18-18)

主催：姫街道の松並木を考える会

TEL 053-430-1400(竹内)

まちはびっくり箱だあ！

第1回浜松イーストタウンフェスタ

・さまざまなジャンルのカレーとミュージシャンが大集結！新しいまち「イーストタウン」のお店やレストランと協力して、街中をびっくり箱にしてみました。

日時：11月6日(土) 7日(日)

場所：イーストタウン(浜松市東地区)

主催：まちはびっくり箱だあ！実行委員会

メール：hako@man10maru.com

TEL 053-457-3914 FAX 053-457-3915

・浜松まちづくりセンター通信 「はままつ風しんぶん」

[編集後記]まだまだ暑さが続く今日この頃。皆様いかがお過ごしでしょうか？

・発行：浜松まちづくりセンター(平成16年9月)

〒430-0915 浜松市東田町16番地

(財)浜松まちづくり公社

TEL: 053-457-2616 FAX: 053-457-2617

メール：h-m-c@msi.biglobe.ne.jp

http://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/

lifeindex/partnership/city/hudc/

親と子のカラーセラピー

・色でコミュニケーションをはかりましょう！お子さんやパートナーの見えない言葉や思いを色で感じてみてください。

日時：10月3日(日) 10:00 ~ 16:00

場所：浜松フォルテガーデン1階

参加費：500円(2名様分、材料費込、整理券有)

主催：NPO法人 色彩倶楽部

TEL 053-451-1624

URL http://www.shikisaiclub.com

みんなでめざそうエルネスライフ

・人と地域が輝く健康づくりを目指して

11月6日(土) 館山寺、村柳地区にて

ウエルネス体験イベント(参加費要、申込要)

・ゆーりんサイクリング(9:00 ~ 11:40)

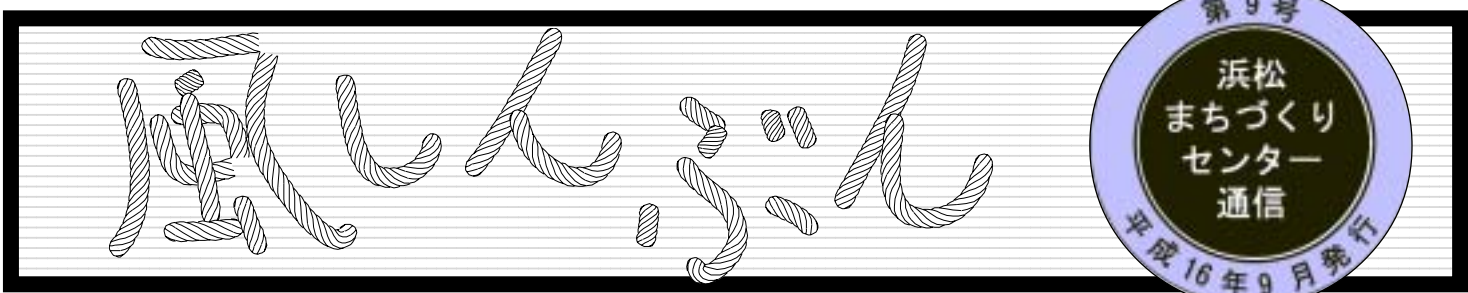
・のんびりウォーキング(9:00 ~ 11:30)

・ウエルネスフォーラム(参加無料、申込不要)

13:30 ~ 16:30 遠鉄ホテルエンパイアにて

主催：環浜名湖ウエルネスツアー研究会

TEL 053-462-5273 (三宅)



まちづくり企画展 「戦時中のはままつの人びとまち並み」

戦時中の浜松の中心街で暮らしていた人々、まちの様子や建物などを地図や写真などで伝えるまちづくり企画展を開催しました。当時の浜松市中心部の地図作成をしている小西貴さん(浜北市内野台)や当時の写真を所蔵している神谷昌志さん(尾張町)など、多くのみなさんの協力を得て、8月7日~30日にかけて開催しました。約300人の方が訪れ、小西さんの地図作成のテクニックと熱意に驚くとともに、失われたまち並みや建物から当時のまちや暮らしについて思い返しました。まちについて、人について、過去・現在・未来を語り合うことにより、人々のつながりの大切さや先人たちのまちをつくりあげる力の偉大さを伝えることができました。

約300人の方が訪れ、小西さんの地図作成のテクニックと熱意に驚くとともに、失われたまち並みや建物から当時のまちや暮らしについて思い返しました。まちについて、人について、過去・現在・未来を語り合うことにより、人々のつながりの大切さや先人たちのまちをつくりあげる力の偉大さを伝えることができました。



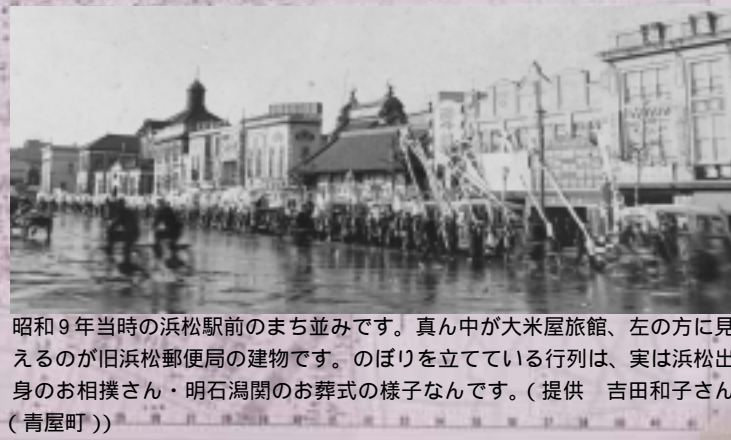
浜松城周辺の拡大地図です。今市役所がある付近は何と牧場だったんですね！



約30年かけて1000人以上の市民から集めた情報をもとに地図と名簿を作成した小西さん。来年の改訂版の発行に向けて情報を整理中です。

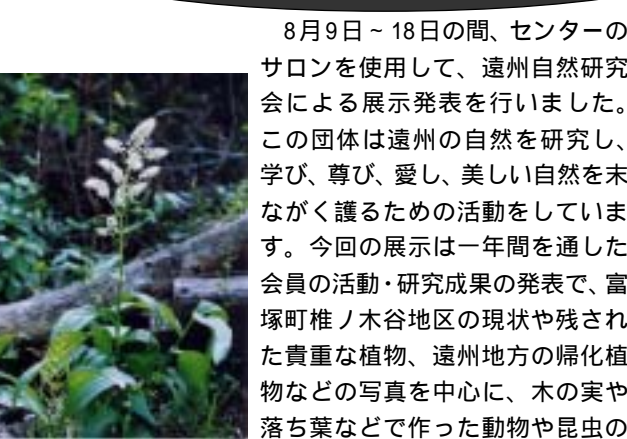


左は昭和初期の鍛冶町大通り。おもむきのある素敵なまち並みだと思いませんか？現在はこのあたりにザザシティが建っています。(提供 高須修さん(中田町))



昭和9年当時の浜松駅前のまち並みです。真ん中が大米屋旅館、左の方に見えるのが旧浜松郵便局の建物です。のぼりを立てている行列は、実は浜松出身のお相撲さん・明石潟間のお葬式の様子なんです。(提供 吉田和子さん(青屋町))

遠州地方に残された貴重な植物・帰化植物に関する展示発表をしました！



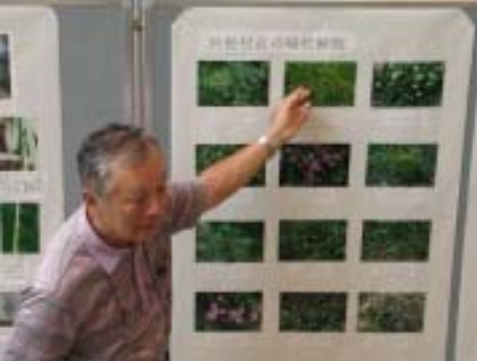
絶滅危惧 類の「ミカワバイケイソウ」は県内では椎ノ木谷地区でしか見られないそうです。



期間中、8月15日には写真を撮影した会員などによる展示物の説明会が開かれました。



木の葉で作った「ふくろうのブローチ」を胸に付けて「ハイ、チーズ!!!」



普段何気なく見かけるものの中にも実は帰化植物や帰化生物がたくさんあるんですね。

展示スペースを提供しています
まちづくり関係団体を中心にまちづくりの活動や成果をひろく広めるための展示スペースとして、センターの1階サロンを無料で貸出しています。希望団体には、概ね2週間程度を目安にお願いしています。展示の時期やスペース等の調整が必要ですので、希望する団体はまちづくりセンターまでご相談下さい。

災害時にうごけるボランティア講座

～防災・ボランティア 地域の中であなたの力を活かしましょう～

近年起こった災害では、全国のボランティアが動き、また地域住民がボランティアとして多くの方が活動してきた経緯があります。災害時を意識して、自分が住む地域を見つめ直し備えをしていくことは、日常の「誰もが安心して暮らせるまちづくり」につながっていくことと考えます。

まちづくりセンターでは、浜松市社会福祉協議会、災害ボランティアコーディネーターはままつ、そして浜松市と協働し、「はままつ災害まちづくりパートナー会議」という組織を立ち上げ、災害時に必要になる情報やノウハウを学び、「災害時に動ける知力・地力」をもつ人づくりをすすめていきます。

7月17日 特別講演会

「阪神淡路大震災から10年、その時何がおこったのか」
阪神淡路大震災の記録ビデオ上映の後、当時現地でボランティア活動をコーディネートした方たちの実体験をうかがいました。「災害時は錯綜する情報の見極めが重要」「ボランティアはされるよりする方が気持ち楽」などのアドバイスがありました。



コメントターの石井布紀子さん（真ん中・関西学院大学等講師）田中潔さん（右・長泉町ボランティア連絡会）左はコーディネーター役の清水慈子さん（県ボランティア協会）

8月22日 第1回講座「災害時に使える豆知識」

1時間目は県の防災倉庫を見学し、仮設トイレやろ過機、無線機の体験、2時間目はビールの空き缶を使った簡易コンロ、コップを使った明かりづくり、3時間目は大工さんの豆知識として、家具の固定や工具の使い方、4時間目は身近なものを使った応急処置の方法などを学びました。



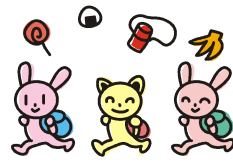
ビールの空き缶で簡易コンロを作ってお湯を沸かしました。昼食はみんな非常食の試食大会です。



電動のこぎりで木材を切ってみました。



デニムのシャツなどを使って応急担架を作りました。



市民協働 たねからみのり

浜松市市民協働推進条例施行から一年余りが経過しました。「市民協働」により実践的に取り組める仕組みづくりの第一歩として「市民協働・たねからみのり」が市行政経営課の主催で開催されました。まずは、市民のみなさんから地域の問題解決のためのアイデア・ヒントを、そして市から「悩みの種」を募集して「市民協働アイデアフリーマーケット」として発表してもらいました。これを素材として具体的な事業実施提案を募集し、一ヶ月後にはプレゼンテーションを行い、公開審査により市からの事業委託の候補を選出しました。

事業実施提案については、
(1)市の施策として必要性が高いもの
(2)市民協働の観点から市民活動団体または事業者の特性が発揮できるもの
(3)事業委託費は、60万円を上限とする
以上の3つを基本的な考えとし、3名の選考委員が課題の把握 協働 事業計画 予算 実現性 効果の6つの観点から点数による評価を行いました。



7月24日 「市民協働アイデアフリーマーケット」 と題し、市民から18件のアイデア、市役所から3件の「悩みの種」が発表されました。



8月28日 12件の事業実施提案のプレゼンと公開審査が行われました。3名の選考委員により委託事業候補4件と次点1件が選ばれました。

公開審査により以下の事業が選ばれました

順位	テーマ	提案者
1	登録文化財「旧浜松銀行協会」の価値を守りつつ広く利用される施設とするため、①建築的文化的価値について整理・記録②現地調査を行い、様々な利用方法により想定される問題や対処方法を整理③望ましい利用方法や管理方法について提案	(社)静岡県建築士会浜松支部
2	「災害時に動けるボランティア講座」を開催し、災害時の避難所生活を疑似体験する研修会、「被災」のための地域連携、住民がすべきことなどに関する公開講座を行う。	ACTくみの会
3	在住外国人の高校進学のために三者面談に通訳を派遣する事業とし、①通訳の募集・人選・派遣のコーディネート②教育制度に関する研修会③多言語による進学情報誌の発行④教育委員会&学校との折衝などを行う。	NPO法人浜松NPOネットワークセンター
3	遠州灘 浜の利用者参加の環境保全のしくみづくり調査事業とし、①浜の利用者に対してのアンケート調査②ゴミを持ち帰ったり拾ってきた浜の利用者に、簡易シャワーなどを提供する実験事業を行う。	NPO法人ヘルスブレインネットワーク
次点	フルーツパークとの協働による地域活性化事業として、①お月見コンサートとし、中秋の名月にあわせて地域の人材を生かしたコンサートをフルーツパーク内で行う。②桜と開花が連続するアーモンドの木を地域に植樹する。	都田・鷲沢・滝沢ふるさと夢Mi隊

銀行協会の建物の今後について考えています！

(旧)浜松銀行協会の建物(浜松市栄町)は、浜松市天王町出身の建築家、故中村與資平氏の設計で、昭和5年に完成し、現在は国の登録有形文化財に指定されています。

平成16年3月、県内4つの銀行協会の統合に伴い、浜松銀行協会は解散しました。建物は、4月に発足した県銀行協会が引き継ぎ、今後の利用方法については未定ですが、浜松市に譲渡されることが決定しています。

この建物の今後の管理や利活用について市民のみなさんといっしょに考えています。



6月4日に見学会を開きました。講堂で元専務理事の立川さんのお話を聞いた後、建物内を見学させていただきました。



応接間の様子です。建物だけでなく、中の調度品も精巧で貴重なものであふれています。



この流れを受け、8月1日には日本都市計画家協会浜松支部主催の「銀行協会について考える緊急市民フォーラム」が開かれました。建物の建築史上の価値や、他都市の歴史的建造物利活用について学んだ後、管理運営方法や利活用について話し合いました。参加者からはコンサートの開催やレストラン運営など、市民が考える理想の案が出されました。



応援しています！ 地域のまちづくり

地域住民の方が、自ら考え進めているまちづくりの勉強会・意見交換会・ワークショップなどの企画・進行などのサポートをしています。

<山手地区>

地区住民のみなさんで構成され、住民協議によるまちづくりを進める土地利用協議会が設立され、よりよい住環境を目指すための話し合いやまち歩き(8月5日)などを行っています。

市内ではほかに、卸本町地区、蛸塚地区でも協議会ができ、地域に合ったまちづくりを進める活動がはじまっています。



<高塚地区>

区画整理事業の構想がある高塚駅周辺地区では、「高塚町まちづくり会」が中心となり、道路網等の基盤整備・駅の橋上化・未利用地の有効利用などを目指して、事業のしくみや構想案について勉強会を開催しています。

7月28日の勉強会では区画整理事業のながれや換地・減歩・補償の概要について勉強しました。



第21回 5月20日(木)

「家は買うものではなく、楽しく建てるもの」

今回の達人...島野孝子さん
(楽しく住まいを考える会「住ま居る」)
今まで気軽に相談することがなかなかできずにいた住宅の建築についての不安や疑問について、「楽しく”ディスカッション”しました。「日本の家の寿命は20～30年と短いのはなぜ?」「家を建てることを楽しむにはどのようにしたらよいか?」などの質問が上がりました。



第23回 7月29日(木)

「富塚町椎ノ木谷地区の緑地保全について」

今回の達人...荒木信幸さん、鈴木満帆さん(椎ノ木谷保全の会)
浜松市富塚町に現存する貴重な自然を守り育てる活動をしている椎ノ木谷保全の会のみなさんに、自然環境保全にむけて動き出した市民による活動や地区の現状についてお話をいただきました。参加者からは「谷間(田んぼの跡)のところを今後はどのように整備、管理を行っていきますか?」などの質問がありました。



第22回 6月24日(木)

「アメリカ・ロチェスター市の教育現場での市民協働の取り組み」

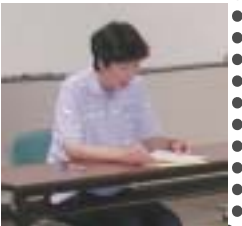
今回の達人...松下直樹さん(浜松市保育課)
アメリカの教育現場の特徴や問題点、地域住民の教育に対する意識について議論しました。「アメリカにはいじめ、学級崩壊という問題があるのか?」との質問には「低い所得層の子供が多く通う学校には、学校の荒廃が見受けられるがカウンセラー、ボランティアによる対応がされている」と答えました。



第24回 8月19日(木)

「環浜名湖ウエルネスツアーについて」

今回の達人...三宅淳子さん(環浜名湖ウエルネスツアー研究会)
環浜名湖地域の自然、歴史、文化、郷土料理等の地域資源を活かして、幸せと健康づくりを目指して動き出した研究交流活動についてお話いただきました。「ウエルネスツアー」とは、人々の健康保持や増進につながる健康保養型観光の意味だそうです。また、後半には浜名湖花博の跡地利用について議論し、海産物の市場や海洋研究所など多くの案が提案されました。



新たに加わった「まちづくり関係団体」を紹介します！

(平成16年8月31日現在)

認定No.	団体名	まちづくり活動の分野	紹介
106	静岡県マンション管理士会	まちづくり・環境	県内の分譲マンションの管理組合活動の活発化と県民への啓蒙、マンション管理士の資質の向上を目指し活動しています。
107	はままつ「伝統と前衛」芸術を愛する百人委員会	文化	世界の「伝統と前衛」芸術について理解を深めることを目的とし公演や講演会等の催しを行います。
108	NPO法人 クロスロード・ミュージック浜松とおん	まちづくり・文化	いつでもどこでも誰でも生の音楽に出会い、楽しむことが出来る、音楽のあふれるまちづくりを目指し活動しています。
109	静岡県医療ソーシャルワーカー協会	福祉	医療ソーシャルワーカーの資質を高め、公衆衛生の向上と社会福祉の増進に寄与することを目的に活動しています。
110	静岡いじめを考える会	教育	子どもたちがいじめられない、いじめない社会を考えていくことを目指し、定例会、他団体の交流、講演会、勉強会の開催、行政への働きかけなどを行っています。
111	航空自衛隊退職者団体 新生つばさ会浜松支部	環境・教育・文化	防衛諸業務の協力支援、社会貢献が主目的。当団体は、美術部等7同好会を有し独自の活動で市民と交流展開です。
112	NPO法人 全国日本語教師会	地域・教育・文化	日本語教育を通して、外国人の方々と国際交流の場を作り、地域の社会問題の緩和に役立ちたいと願っています。